

第6次総合計画  
宇治市総合計画審議会  
第6回全体会  
議事要旨

宇治市

## 第6回宇治市総合計画審議会 議事要旨

<開催年月日>2022(令和4)年1月27日(木)10時～

<開催場所>市役所議会棟3階第3委員会室

<出席者>

・委員

真山 達志(委員長)	同志社大学政策学部 教授
多田 ひろみ(副委員長)	宇治市女性の会連絡協議会 会長
塚口 博司	立命館大学理工学部 名誉教授
稲垣 勝彦	京都府山城広域振興局 局長
鶴ノ口 悟	南山城地区労働者福祉協議会 事務局長
奥西 隆三	社会福祉法人宇治市社会福祉協議会 会長
小永井 宏子	宇治市国際交流協会 副会長
小林 幸大	株式会社京都銀行 宇治支店長
城市 哲	ソフトバンク株式会社 参与
竹内 理	宇治市連合育友会 副会長
土井 邦紘	一般社団法人宇治久世医師会 監事
長谷川 理生也	宇治商工会議所 専務理事
平田 研一	一般財団法人宇治市スポーツ協会 会長
松本 嘉一	宇治市連合喜老会 会計監査
吉田 利一	京都やましろ農業協同組合 副組合長理事
相川 道代	市民公募委員
下川 浩正	市民公募委員
薄田 徹	市民公募委員
谷口 宜秀	市民公募委員
寺川 徹	市民公募委員
向山 ひろ子	市民公募委員
安井 大斗	市民公募委員
山本 互	市民公募委員

計 23 名

・理事者

松村 淳子	市長
川口 龍雄	副市長

・技監・理事

小野 孝司	技監
平野 裕之	理事

・部長

秋元 尚	市長公室長
濱岡 洋史	危機管理監
貝 康規	政策経営部長
本城 洋一	総務部長
脇坂 英昭	産業地域振興部長
福井 康晴	人権環境部長
星川 修	福祉こども部長
藤田 佳也	健康長寿部長
五十嵐 司	建設部長
久下 伸	都市整備部長
畑下 茂生	議会事務局長
山田 雅彦	上下水道部長
伊賀 和彦	教育部長
梅永 聖児	消防長

・総合計画審議会事務局

遠坂 尚	政策経営部副部長
大北 浩之	政策経営部経営戦略課長
佐々木 卓也	政策経営部経営戦略課副課長

藤丸 博克

政策経営部経営戦略課主任

計 22 名

<審議会次第>

1. 開会
2. はじめに
3. 議事  
(1) 第 6 次総合計画(案)について
4. 閉会

<会議内容>

## 1. 開会

### 【委員長】

定刻になりましたので、これより第6回宇治市総合計画審議会を開会します。本日の審議会について、傍聴の申請がありましたのでこれを許可しています。

会議の開会に際しまして、事務局から事務連絡をお願いします。

## 2. はじめに

### 【事務局】

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。会議を進める前に欠席者のご報告をさせていただきます。

◇欠席者の報告(酒井委員、白須委員、築山委員、牧委員、多田重光委員、矢野委員、高田委員、日野委員 計8名)

それでは、議題に入ります前に、配布資料の確認をさせていただきます。

《 資料① 宇治市第6次総合計画基本構想(案) 》

《 資料② 宇治市第6次総合計画第1期中期計画重点施策(案) 》

《 資料③ 宇治市第6次総合計画第1期中期計画まちづくりの土台となる取組(案) 》

《 資料④ 宇治市 第6次総合計画第1期中期計画(案) 》

《 参考資料① 宇治市 第6次総合計画 主な修正箇所一覧 》

《 参考資料② 宇治市 第6次総合計画 各分野の成果指標 》

本日は、第6次総合計画の最終案を固めるため、これまで審議いただいていた基本構想及び中期計画について改めて確認をお願いします。本日、審議いただいた内容を踏まえ、後日、本審議会から答申をいただき、宇治市第6次総合計画(案)を議会に諮っていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

本日の会議の進め方ですが、資料①②③④及び参考資料①②を用いて説明します。資料①から④は前回の審議会からの修正箇所を中心に説明します。参考資料①は前回からの修正箇所の一覧ですので、この資料も確認いただきながら、資料①から④について確認を進めます。

まず、基本構想を確認いただいた後、中期計画の重点施策及び土台となる取組、各分野という手順で進めます。また、各分野の成果指標の目標値の設定理由などの指標に関する補足説明の項目を確認いただくため一部の分野に関する資料(参考資料②)を配布しています。

### 【委員長】

会議の開会に先立ちまして、松村市長よりご挨拶をお願いします。

#### ◇市長より開会挨拶

本年もどうぞよろしくお願いいたします。本日、第6回宇治市総合計画審議会を開催させていただきましたところ、出席いただき厚く御礼を申し上げます。また、平素より、宇治市政にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症について、京都府でも本日 27 日からまん延防止等重点措置がとられるという状況になりました。全国的にも新規感染者が増加しており、京都府でも昨日は 2,000 名を超え、宇治市でも連日 100 名を超える新規陽性者が出ています。特に、10 歳未満の若い世代が罹るという傾向がある一方で、最近では感染リスクの高い高齢者の感染も見られるようになりました。みなさまには、改めて、マスクの着用、手洗い、三密を避けるなど感染症対策にご協力いただきたいと考えています。

本審議会は、令和 2 年 12 月 26 日に諮問し、審議会の全体会を 6 回、専門部会を各部会 2 回ずつ開催しました。この間、新型コロナウイルス感染症による影響やそれに伴う人口減少や経済の底流、宇治市の課題など先が読めない中で、総合計画の審議をいただきありがとうございます。本市議会で審議いただいている総合計画は、先を見据えた 12 年間の計画、特に重点施策として 4 年間の重点的に取り組む施策の審議をいただいています。みなさまから多岐に渡る意見をいただき、ようやく最終段階に入ったところです。本日もお時間は限られていますが、忌憚のない意見をいただきたいと考えています。

前回の審議会から本日までの間、年末年始のお忙しい時期にも委員のみなさまには対応いただきました。本日の審議会ですとめるには、まだまだ意見もたくさんあるかもしれませんが、改めて、審議をお願いできればと考えています。

### 3. 議事

#### (1) 第6次総合計画(案)について

##### 【委員長】

次第に従い議事に入ります。第6次総合計画の最終確認になります。改めて基本構想及び中期計画を確認いただきます。基本構想、中期計画の重点施策とまちづくりの土台となる取組、中期計画の各分野に分けて議論を進めます。

それでは、まず、基本構想について事務局より説明をお願いします。

(資料①及び参考資料①を事務局から説明)

##### 【委員長】

事務局からの説明にあった基本構想の部分に関してご意見やご質問等があればお願いします。

##### 【委員】

更新いただいた部分を確認しましたが、言葉が難しい印象を受けたため、みんなが理解できるようなわかりやすい言葉を使用していただきたいです。例えば、「意識の向上」や「体制の確立」など、よりわかりやすい言葉で表現してほしいです。

##### 【委員】

資料①の p.2 の安全・安心に住み続けられるまちの考え方の2番目です。これまでは「地域による予防活動や自主防災組織の育成」と記載がありましたが、「地域防犯力の向上や交通安全」という表現に変わっています。交通安全という言葉が入ったことは大変ありがたいです。神戸の震災後、災害対策基本法が改正され、自主防災組織の育成は行政の責務になったと思っています。そのため、「自主防災組織の育成」は残しておくのがよいと思います。

**【事務局】**

安全・安心に住み続けられるまちの考え方ですが、1つ目に防災、2つ目に防犯として整理しています。自主防災組織は、考え方の1つ目に地域防災力の向上に含める形で整理しています。ただし、自主防災組織つまり地域で守ることは非常に重要であるため、表現が取り込めるか改めて検討します。

**【委員】**

資料①の p.3 の目指すまちづくりの「出会い」という言葉を補足説明いただけるという説明がありましたが、この言葉を採用した趣旨を確認したいです。「出会い」という言葉は、お見合いをイメージする表現であり、言葉が適切でないように感じるため、他の表現にするほうがよいと考えます。

**【事務局】**

今回、「出会い」という言葉を追加した趣旨は、現在、多様性やライフスタイルが多岐に渡っています。結婚を選ばれない方もいるため「出会い」という表現を用いています。

**【委員長】**

最近、事件報道などで出会い系サイトという言葉が使われているため、あまりよくないイメージがあると思います。一方で、いきなり結婚するわけではないため、さまざまな方と知り合うきっかけが重要という意味で「出会い」という言葉として入ったと思います。

**【事務局】**

パブリックコメントの意見を踏まえて、現在さまざまな選択肢が増えていることを踏まえて追加しました。

**【委員】**

補足説明をされるためよいと思いますが、改めて、自分の言葉への理解が促進されるため質問しました。

**【委員】**



言葉が難しいという話がありました。資料①の p.8 に「市民協働によるまちづくり」という表現がありますが、市民と行政ということでしょうか。また、「PDCA サイクルを徹底し」という表現は一般的でみんなに伝わる言葉か確認したいです。

#### 【事務局】

市民協働は、多様な主体との連携・協働を謳っており、行政と市民の協働という意図で記載しています。また、PDCA サイクルは、一般的に使用される言葉ですが、これから参考資料として用語集を作成する予定であるため、そこで説明することを予定しています。

#### 【委員長】

基本構想は、いただいた意見を踏まえて、表現や言葉遣いなどは若干の修正があるかと思いますが、内容が大きく変更になるような意見はありませんでした。そのため、ご承認いただいたものとさせていただきます。

続きまして、中期計画の重点施策(案)とまちづくりの土台となる取組(案)について事務局より説明をお願いします。

(資料②③及び参考資料①を事務局から説明)

#### 【委員長】

事務局からの説明に関してご意見やご質問等があればお願いします。

#### 【委員】

市民の立場から、コロナ禍で行政にはスピード感を求めていると思います。そのため、市役所の職員の人材育成の中のスピード感を表現するほうがよいと思います。

また、先ほどの議論は12年間の大きな方向性であり、今議論している中期計画は、具体性が求められると思います。担い手不足という言葉がありました。担い手不足に対する具体的な取組を記載するほうがよいと考えます。

資料②の p.17 の施策の視点②-2「賑わいの中心となる拠点づくり」は、JR 六地蔵駅や近鉄小倉駅などの記載があります。12年間の大きな方向性は、目標や夢でよいと思いますが、中期計画では、一步踏み込み市民がイメージできるような内容を記載するほうがよいと考えます。

## 【事務局】

行政としてスピード感を持った対応が求められることは認識しています。その点は、今後4年間の取組を重点施策として設定していることが、今回の総合計画の特徴であり、スピード感を持って対応したいという意図を表現しています。

また、まちづくりの土台となる取組は、資料③の p.6 に組織改革や人材育成の推進の部分について、市議会でも意見をいただいている部分ですが、庁内組織の連携や部局横断的に一丸となって取り組むという趣旨で記載しています。

担い手不足は、資料②の重点施策2「みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会」の p.12 の施策の視点③-1「地域力を育む仕組みづくり」の施策の一例にある「多様な組織が相互に連携、協力できる仕組みづくり」「地域コミュニティの拠点となる空間の創出やキーパーソンとの連携」などで担い手の育成を表現しています。

イメージしやすくするという点は、基本構想は全体的な方向性、中期計画は4年間の具体的な内容になります。最終的に総合計画を冊子に整理していく過程で市民へ伝わるよう意識しとりまとめを進めます。

## 【委員長】

現在、提示いただいている資料はエッセンスを取り出した資料です。冊子時に言葉の説明などを付け加えていきます。そのため、行政がスピード感をもって対応しなければならないという内容は落とし込まれると思います。最終的なとりまとめにあたり、本日の委員の意見の反映をお願いします。

## 【委員】

資料②の p.12 の重点施策2「みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会」の施策の視点③-2 で用いている「地域ぐるみ」という言葉は馴染みがないです。「地域が一体となって」という表現のほうがよいと思います。

資料③の p.3 の「主な取組の方向」の「まちづくりを担う人、組織への支援」に「協働によるまちづくりを進めるにあたり、地域住民だけではなく」と記載されており、「地域住民」という言葉が使われています。先ほどの市民協働の文脈から考えると、ここは「地域住民」ではなく「市民」という言葉のほうが適切と思います。

資料①の p.3 の「出会い」ですが、考え方の冒頭にある「子育て世代の希望を叶えるために出会い・結婚・・・」という表現に違和感があります。

**【福祉こども部長】**

「子育て世代の希望を叶えるために出会い・結婚・・・」という表現は、子育て世代の希望を叶えるため、宇治市として切れ目のないきめ細やかな支援を行っていくという意味です。

**【委員長】**

おそらく子育て支援世代を積極的に支援していくということを表明するという意図であると思います。希望を叶えるための部分に違和感があるということかもしれません。出会い・結婚より、子育てしている世代を積極的に支援していくという意図を理解いただければと思います。

**【事務局】**

「地域ぐるみ」は、「地域一体」という表現の方が適切ではないかという指摘ですが、事務局としても悩んだ部分です。「地域一体」という意味ですが、よりやわらかい表現とするため「地域ぐるみ」という言葉を用いています。

また、土台となる取組の p.3 の「地域住民」という表現ですが、地域の担い手づくりを推進していくため、地域を特徴づけたいため「市民」ではなく「地域住民」という表現としています。

**【委員長】**

「地域住民」と「市民」という言葉の使い分けは再度確認をお願いしたいです。

**【委員】**

資料③の p.6 の土台となる取組 3「将来を見据えた持続可能な行財政運営」の主な取組の方向①「組織改革・人材育成の推進」ですが、「情報共有」と「部局横断的」という表現がされており、よいと思います。

もうひとつは、市職員のゼネラリストとスペシャリストの課題です。医療保険や介護保険など制度が定期的に変わり、理解するまでに人事異動がなされ、深掘せずに表面的な説明で終わっています。市として突き進めることは少ないのかもしれませんが、キーパーソンとの連携など人材の宝

庫である宇治市役所がリーダーシップを示しにくいと思っています。それに対する見解を確認したいです。また、可能であれば記載してほしいです。

#### 【市長】

これまでも市職員の研修の機会を設定していますが、ゼネラリストとスペシャリストなど、どのような職種をどのように育成していくかはこれからの市政で非常に重要であると考えます。現時点で、どのような職種をどのように育てていくか提示できる段階ではありませんが、職員1人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう人材育成という視点を込めた研修体制を取っていきたいと考えております。そのため、いただいた意見は、市政運営に活かします。

#### 【委員長】

日本の行政はスペシャリストだけでは回らない部分があります。一方で、ゼネラリストだけでは専門性に欠けるなど非常に難しいです。スペシャリティを持ったゼネラリストを育成していくのが一番よいと思います。いただいた意見を踏まえて、市の人材育成に配慮いただければと思います。

#### 【委員】

資料②は中期計画の重点施策であり、「施策の柱」「施策の視点」「施策の一例」と具体性があります。一方で、土台となる取組は、4年間の取組として方向までの記載では抽象的であり、具体性がないと思います。

#### 【事務局】

今回の総合計画では、はじめてまちづくりの土台の位置付けをしています。土台は各分野の取組を進めていく上で基礎となる部分であるため、中期計画で施策を展開していくための方向性を示しています。具体的な内容は中期計画や毎年の予算の中で整理します。

#### 【委員】

資料①②③の順番が逆転していると思います。資料①に方向性、資料②で具体的な内容、資料③で抽象的な内容となっていることに違和感がありますので整理いただきたいです。

#### 【委員長】

議論の順番は、土台を先にし、その後、重点施策という順番でもよかったかと思います。冊子にする段階では、土台の位置づけや縦串と横串の関係をわかりやすく、図を使いながら説明する必要があります。

行政は昔から縦割りであり、各分野の取組があり、相互に横と連携が取れていないという課題があります。また、さまざまな取組をするときの基本的な方針・考え方、理念が明確になっていないという課題もあります。そのため、土台や重点施策は横串の役割を果たすものになっています。その意味では、重点施策も土台も同じ横串であるため、冊子時に整理をお願いします。

#### 【委員】

土台となる取組は、基本構想の12年に対する土台なのか、中期計画の4年に対する土台のいずれに該当するか確認したいです。計画の全体像では、土台は基本構想に位置づけられており、資料③の表紙のタイトルでは中期計画に位置付けられていますので、整理をお願いしたいです。

#### 【事務局】

まちづくりの土台となる取組は、12年間のまちづくりの基礎となる部分として整理しています。また、中期計画の中では4年間で何に取り組むかを整理しています。

#### 【委員長】

土台は、基本構想に位置づけられていますが、土台を中期計画の中に落とし込むと提示している資料の記載内容が具体的な取組になります。一般的な総合計画の構成である「基本構想」「中期計画」という単純な構造ではなく、土台や重点施策という横串を設定しているため、構造は複雑になっています。各分野縦割りではなく、「総合的」「組織横断的」「分野横断的」な取組を計画で示そうとしている努力の結果です。わかりにくい部分は市で説明していただき、市民のみなさまも受け止めていただければと思います。

続きまして、中期計画(案)について事務局より説明をお願いします。

(資料④及び参考資料①を事務局から説明)

#### 【委員長】

事務局からの説明に関してご意見やご質問等があればお願いします。

**【委員】**

分野 21「戦略的な産業振興」の「あらゆる産業の振興により市外からの需要や人の流れを呼び込み」と記載されていますが、あらゆる産業の成果指標が「製造品出荷額」「製造業の情報発信数」の目標しかないように見受けられます。あらゆる産業を対象にする場合、すべての産業が対象になると考えます。例えば、昨年 12 月の産業振興会議資料の産業戦略の初案にもあった「市内総生産額」「輸移入額」なども成果指標としてもよいのではないかと思います。

**【産業地域振興部長】**

成果指標は毎年数値が取得できるものを採用しています。ご提案のあった指標は、数年に 1 度しか数値が取得できないため外しています。「あらゆる産業」については、主要なところでは商業、工業が中心になりますが、物理的な部分も取り組んでいきたいと考えています。そのひとつとして「うじらば」を設置しており、起業される方などさまざまな方が集まり、新しいイノベーションを起こしていただければと考えています。

**【委員】**

分野 1「災害に強いまちづくりの推進」の成果指標の No.7「西宇治地域における概ね 10 年に 1 回目程度発生する降雨に対する浸水箇所解消率」の目標値が 60%となっています。令和 7 年までに浸水が起こるのかと思います。目標は 100%に設定して取組を進めてほしいです。特に西宇治地域の開発が見込まれており、小倉駅はポンプで宇治川に通っているため、耐水対策に不安を感じます。

**【建設部長】**

西宇治地域の浸水対策は、以前から浸水が発生している地域であり、市では積極的に治水対策を進めてきました。目標値ですが、計画的に下水道の整備・再構築計画を作り、取組をしてきているため、平成 24 年度以降は大きな被害は起きていないです。国でも整備には多額の事業費が必要になるため、10 年に一度の災害に耐えられるような中長期的な整備を行いながら広域対策をすることが求められています。計画的に進めていくと令和 7 年に 60%という数字になっておりま

す。また、檳島の産業立地の浸水対策についても、巨椋池土地改良区と市とで協議しながら行っており、今後も継続的に取組を進めていきます。

#### 【委員】

分野 3「消防・救急体制の充実」ですが、健康で自分らしく生きるためのまちづくりのために救急医療体制について追加してほしいです。医師会長時に、救急車を呼んで5分以内に来てもらえるような対応に取り組んでいましたが、救急隊を呼ぶ件数が増え対応しきれなくなってきました。このような状況下でコロナにより、救急隊が努力しても思うように患者を病院へ運ぶことができなくなりました。現在、医療現場は混乱し疲弊しています。そのため、消防救急体制に医療の救急体制についても目標に記載をいただきたいです。医師会として行政との協働の姿勢は示していたため応えてほしいです。

また、子育てですが、保育園や幼稚園にあがる前の段階の保護者が今困っているため、保護者の満足度が高くない要因です。

#### 【消防長】

医療に関する救急体制は、どのように盛り込めるか検討します。

#### 【委員長】

医療そのものは消防・救急の範中に入らないと思いますが、連携は医療側の努力だけでなく、消防救急側の努力も必要であるため考慮できるようであれば工夫をお願いします。

#### 【委員】

分野 6「夢と希望を叶える子育て環境の充実」の待機児童数の現状値がゼロとなっていますが、もう少しアピールをしっかりとするほうがよいと思います。他の自治体では子育て世代の市民が増えることによって画期的に人口が増えています。東京の大都市圏で行政施策をアピールしているところは人口が増えています。他の行政の取組を参考にアピール方法を検討してほしいです。

夢と希望を叶える子育ての環境は、分野 8 と分野 11 にも連動しており、連動についてよりわかりやすい表現にしてほしいです。宇治市は交通の便もよいため、住みたいと思える表現を是非お願いしたいです。

#### 【福祉こども部長】

待機児童数は、ここ数年 0 名であり、今後も継続するため取り組みます。加えて、p.25 の 7「乳幼児期の教育・保育の充実」など中身の充実にも取り組んでいきたいと考えています。また、5 の支援を要する子どもたちへの対応を強化するにあたり、ヤングケアラーや医療的ケア児の問題も扱っていきたいと考えております。子育てにやさしいまちは、すべての世代にとって住みたいまちと理解しているため、今後も引き続き努力していきます。

#### 【市長公室長】

まちづくりの土台の取組の中に戦略的な広報や魅力発信の取組を記載しています。市の取組を市内外の方々に知っていただくため、効果的な情報発信をしていきたいと考えています。

#### 【副委員長】

分野の目標、成果指標、現状と課題をあげていただいています。目標達成に向けた取組も具体性がありますが、分野の目標の後ろの「(達成したい姿)」という表現は行政が消極的な印象を与えるため、達成したいという表現は不要であると考えます。

#### 【事務局】

今回、分野の目標としてあえて「達成したい姿」を記載しました。今回の総合計画策定では、課題からではなく、12 年後のまちの姿である達成したい姿を共有したいため、取組を整理したという計画策定の経緯もあります。

#### 【委員長】

目標という表現が曖昧であるため、具体的な姿を描いてそこに向かって進むという意図で達成したい姿という書き換えをしていると思います。ただし、「達成したい姿」の「したい」という表現がひっかかります。消極的な表現であり、主体的でない印象があります。姿を描くことは問題ありませんが、達成したいという表現は工夫するとよいと思います。

#### 【委員】

表現が消極的な印象があります。具体的には、分野 21「戦略的な産業振興」の 4.目標達成に向けた主な取組の 5.産業基盤の整備で「更なる市内経済の活性化に向け、市外からの企業誘致



を含め、企業の立地ニーズ等の調査や新たな工業用地の可能性の検討を行います」とありますが「検討を行います」という表現は、検討することが目標であり、産業の衰退を感じている市民としてはさみしいです。「検討を行い、さらなる市内経済の活性化に向け、市外からの企業誘致を図ります」などの表現がよいと思います。

冊子が完成した時に、市が消極的と感じる表現は、市への興味が薄れるため、積極的な表現を意識してほしいです。

#### 【産業地域振興部長】

表現の統一は意識していますが、指摘いただいた工業用地の検討については、「国道 24 号沿道」「白川地区」「榎島地区」が候補地としてあがっています。その中でも「国道 24 号沿道」の取組を進めた上で、他の 2 つの地域も並行して検討を進めていく段階となっているためこのような表現としています。

#### 【委員長】

現実的ではない取組は記載することが難しいです。現状は検討する段階までしか進んでおらず踏み込んだ表現は難しいと思います。計画の中で記載することが難しい内容は、広報などで積極的にアピールしていただければと思います。

#### 【委員】

担い手について、地域社会という言葉が出てきますが、町内会・自治会は地域社会に含まれているか確認したいです。市民の立場から生活単位は町内会・自治会ですが、p.16 にしか町内会・自治会の言葉が出てきていないです。担い手不足である場合、町内会・自治会の役割や連携のメッセージを明確にしてほしいと考えています。先日、ごみステーションの管理について、自治会は管理しないため、市に相談してほしいという回覧板の案内がありました。住民の入れ替わりがある中で市の窓口としての町内会・自治会の位置づけを明確にしてほしいです。

また、高齢でも働きたい人はたくさんいます。人材不足のニュースも多いですが、シルバーパワーも担い手として考えているというメッセージがほしいです。

#### 【産業地域振興部長】

いただいた意見は、分野 11「市民主体の地域づくりの推進」に記載しています。町内会・自治会だけでなく、NPO や防災、防犯という観点からも地域コミュニティを活性化していく中で地域が主体的に取り組んでいくことを支えていきたいという内容でとりまとめています。

#### 【健康長寿部長】

分野 14「生きがいの持てる健康長寿社会の実現」の目標達成に向けた主な取組の 1 に知識習得や労働能力を生かす場等の文言を追加する形で対応しています。

#### 【委員】

分野 14「生きがいの持てる健康長寿社会の実現」について、老人福祉法第 2 条及び第 3 条で高齢者の生きがいづくりが定められていますが、1.高齢者の生きがいづくりと社会参加に内容が反映されていると思います。

ただし、「4. 介護予防の推進」の「予防」という言葉は、「災害予防」「犯罪予防」などよく使われている言葉ですが、介護は予防するべきという印象をあたえると思います。介護は介助とは異なり、言葉で包み込むようにして支えていくというコミュニケーションが含まれていると理解しています。高齢者も増加しているため、介護は悪いことではなく積極的に捉えていくことが必要であると思います。介護する側と介護される側が共に成長していくなどのような表現とできないでしょうか。

また、6.宇治方式地域包括ケアシステムの推進の「高齢者の尊厳が守られ」の尊厳の意味がわかりにくいです。尊厳とは、社会の一員として重んじられているかが判断基準と考えています。また、尊厳という言葉を使ってもよいですが、わかりやすい説明が必要と考えます。私は、地域社会の中で一員として重んじられているかで尊厳という言葉を理解しています。「認知症の人が、住み慣れた地域で尊厳を保ちながら穏やかな生活を送り」という部分に関しても、認知症になったら穏やかに生活しなければならないような印象を与えます。むしろ、いきいきとした生活が必要であると思います。感情や感覚などを抑える必要はないと考えます。そのため、認知症の人にやさしいまちにという表現に違和感があります。認知症でない私が、認知症であるあなたにやさしくしてあげるという表現に捉えられます。

コロナ問題で健康は何かということを考えさせられました。健康寿命を延伸するという言葉がありますが、健康でない期間とはどういうことなのか。具体的には要介護以上なのか。例えば、友人に難病の人もいますが、ALS の人で会社経営者や大学の学長などもあります。私たちは立ち止まって考えていく必要があると思います。

#### 【健康長寿部長】

老人福祉法第2条及び第3条の定めを宇治方式にも盛り込んでいることを理解いただいていると思います。「介護予防」は、介護を否定しているわけではなく、一般的な言葉として使用されており、伝わりやすい言葉と考えています。ただし、言葉の使い方は今後検討が必要であると考えます。「尊厳」は、たとえ認知症であっても、家族や地域社会の中でその人しかできないことなどが尊重されることなどを踏まえて今後の取組を進めていきたいです。「認知症にやさしい」も宣言の中で使用している言葉ですが共に生きることです。「穏やか」は、認知症になった際は穏やかでいなくてはならないということはありませんが、さまざまところでこの言葉を使用しています。そのため、今回は一般的な表現を用いる形としたいですが、当事者や市民の方々に言葉としての受け止め方まで考えて今後は言葉選びを慎重に検討を進めたいと考えます。

#### 【委員長】

「介護予防」や「健康寿命」という表現は、何気なく使用している言葉ですが、確かに介護予防という表現は違和感があります。「認知症の人にやさしい」は、一般的に使用しているため、今後検討は必要ですが、今回はこの表現とさせていただきたいです。

#### 【委員】

総合計画を策定し、どのように活用されているかがわかりません。その反響や成果についても知りたいです。活用される計画になるようにしてほしいです。また、住民に対してどのようなことをお願いしたいかについても重点的なことを示し、協力体制を要請することもお願いしたいです。

少し話が戻りますが、人材育成は、非常に重要な取組であり、地域でも人材育成が必要になっています。

#### 【委員】

先ほど意見がありましたが、介護予防という言葉を変えて認識しました。いただいた意見を反映する余地がないか確認したいです。

#### 【委員長】

使用している言葉は、一般的な用語であり、今回、計画の中でどのような取組をするのかなど、意味が伝わらない表現ではないため、計画では一般的な表現を用いるほうがよいと考えます。一方で、今後、言葉の使い方は慎重かつ丁寧に選ぶよう取り組んでもらいたいです。

**【委員】**

分野 17「スポーツを通じたまちづくりの推進」について、スポーツマンシップのようにスポーツをする中でより生活が豊かになるような積極的な表現を盛り込めないか。また、あらゆる人がスポーツを通して心が豊かになることを記載できないか検討してほしいです。

**【産業地域振興部長】**

スポーツを楽しみ、地域とつながる、広げるなどを記載していますが、現在、第2期スポーツ振興計画を策定中であるため、いただいた意見は個別計画に盛り込みます。

**【委員】**

医療の立場から、病を持っている人も運動療法が非常に重要です。栄養と運動が重要です。健康だけではなく、運動療法やリハビリがいかに大事かを盛り込んでいただけるとよいと思います。

**【委員長】**

スポーツの効用は高いため、効用について記載の追加を検討いただければと思います。

本日いただいた意見は、最終調整で可能な範囲で盛り込みの検討をお願いします。その前提で、審議いただいた内容についてはご了承いただけますでしょうか。

(ご承認)

それでは資料①から④をとりまとめて答申書を整理させていただきます。なお、本日確認いただいた資料からの修正は、委員長及び副委員長に一任いただけますでしょうか。

(ご承認)

**【事務局】**

今後のスケジュールを説明します。本日の意見を踏まえて、委員長及び副委員長に確認いただき、委員長から市長へ答申をいただきます。その後、3月を目途に議会へ提示し、計画をとりまとめていきたいと考えています。

**4. 閉会**

**【委員長】**

それでは、本日の議論はこのあたりで一旦閉じさせていただきたいと思います。

閉会にあたり松村市長からご挨拶の申し出がございます。

◇市長よりご挨拶

貴重な意見をいただきありがとうございました。修正すべき内容を修正し、計画の最終案は、委員長及び副委員長と相談しとりまとめます。今回の計画は、12年間という長期にわたる取組と4年間という直近の取組を整理しており、横断的な取組も設定しているためわかりにくい部分もあると思います。また、宇治市の総合計画はわかりにくいという意見を計画策定当初に市民からいただいていた。そのため、まちづくりの最上位の計画であるため、行政がしっかり整理することも必要ですが、市民に理解いただくことも必要と考えています。

第6次の計画は、第5次までの目標と異なり、まったく新しい目標をみなさまと検討し設定しました。市民参画を含めて、みなさまとまちづくりを進めていくことを改めて決意をしたところです。新型コロナウイルス感染症の状況は先が見えない状況ですが、委員各位及び市民、宇治市に関わるすべての人の協力を得て進めていきたいと考えています。

**【委員長】**

それでは以上をもちまして、本日の審議会は閉会したいと思います。長時間に渡りましてどうもありがとうございました。

---了---